

令和7年勝浦町マラソン議会（ひな会議）会議録第3日目

1 招集年月日 令和7年3月4日

1 招集場所 大会議室

1 開閉日時及び宣告

開議 3月4日 午前9時31分 議長 松田貴志

散会 3月4日 午後4時42分 議長 松田貴志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内谷安宏	2番	福井裕美
3番	長尾隆資	4番	玉置守
5番	花房勝一	6番	瀬戸直一
7番	美馬友子	8番	松田貴志
9番	籾公一	10番	井出美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

5番	花房勝一	9番	籾公一
----	------	----	-----

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町長	野上武典	副町長	山田徹
教育長	市川公雄	政策監	佐藤健司
福祉課長	長友清美	農業振興課長	上村和也
上下水道課長	大上誉司	教育委員会事務局長	石木正昭
福祉課課長補佐	杉山優子	農業振興課主幹	西濱浩史
農業振興課課長補佐	上野弘一朗	上下水道課課長補佐	高田悦尚

1 職務のため出席した者の職氏名

事務局長 松本博文

1 議事日程（第3号）

開議宣言

日程第1 議案第18号 令和7年度勝浦町一般会計予算について

- 日程第 2 議案第19号 令和 7 年度勝浦町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第 3 議案第20号 令和 7 年度勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計予算について
- 日程第 4 議案第21号 令和 7 年度勝浦町介護保険特別会計予算について
- 日程第 5 議案第22号 令和 7 年度勝浦町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第 6 議案第23号 令和 7 年度勝浦町物産販売特別会計予算について
- 日程第 7 議案第24号 令和 7 年度勝浦町簡易水道事業会計予算について
- 日程第 8 議案第25号 令和 7 年度勝浦町農業集落排水事業会計予算について
- 日程第 9 議案第26号 令和 7 年度勝浦町病院事業会計予算について

1 本日の会議に付した事件

日程第 1 から日程第 9 まで（第 3 号）

1 会議の経過

別紙のとおり

～～～～～～～～～～～～～～～～

午前9時31分 開議

○議長（松田貴志君） ただいまから令和7年勝浦町マラソン議会ひな会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（松田貴志君） 昨日に引き続き、議案第18号から議案第26号について詳細説明を求めます。

初めに、福祉課関係について詳細説明を求めます。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） おはようございます。

それでは、令和7年度勝浦町一般会計当初予算、福祉課関係について説明をさせていただきます。

予算額8億5,212万1,000円で、前年度より3億621万3,000円の減となっております。令和6年度は、喜楽苑の建て替え補助金があったため、億を超える金額になっております。令和7年度の主な事業として、6点掲載してあります。

マネジメントシートから説明をさせていただきます。

まず、1点目、3款1項1目社会福祉費のひとり親家庭等福祉年金事業でございます。これまでは、母子福祉年金事業として行っておりました。条例改正でも説明してもらいましたが、母子世帯だけでなく父子世帯も対象とし、ひとり親家庭で要件に該当する世帯に年金を支給するものでございます。対象世帯としましては、1月1日現在に1年以上住所がある者で、前年の所得が児童扶養手当法施行令で定める額未満の者が対象となります。支給額は年間1万円で、50世帯のうち支給要件に該当する世帯を実績により73%と見込み、併せて転入世帯を3世帯と見込み、合計40世帯分の40万円を計上しております。

2つ目です。3款1項3目老人福祉費、緊急通報体制等整備事業でございます。

事業内容は、ひとり暮らし等の高齢者に対して緊急通報装置を貸与することにより、高齢者等の急病や災害時の緊急時に迅速に対応できるよう体制を整備しておりますが、固定電話の回線を使用しなければ利用できない状況でした。今回は、個人所有の携帯電話でも緊急通報ができるよう整備し、拡大をするものでございます。

サービス内容は、固定電話と同様で、安否確認や一斉緊急の連絡発信等を行います。ただし、個人所有の携帯の場合は赤外線センサーが連動できないため、冷蔵庫センサーが代わりとなります。料金は、自己負担が月額300円で、委託に係る保守料が月2,670円、設置費用代は9,900円で、固定電話使用時の同額になっております。現在、7名の利用がありますので、新たに5名分の新規を見込み、総額43万3,980円を計上しております。

3つ目になります。ゼロから1歳児保育料無償化事業でございます。

事業内容は、県の事業に合わせてゼロから1歳児の保育料を令和7年9月から第1子から無料化するものでございます。県では、年収640万円未満の場合、無償化の対象と所得制限を設けておりますが、町独自で所得要件を撤廃し、無料化の対象といたします。対象となる児童は14名で、平均の保育料で算定しますと294万円、その他財源が減収見込みですが、所得制限にかからない保護者の場合は2分の1県補助金を充てさせていただきます。

4つ目になります。子育て世帯訪問支援事業でございます。

こちらは、新規事業になります。

内容は、家事、子育て等に対して不安や負担を抱えた子育て家庭や妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を支援員が訪問し、不安や悩みを傾聴し、家事や子育て等の支援を行うものでございます。事業費は、利用者5世帯を見込み、支援事業者への委託料や交通費、総額211万9,800円を計上しております。利用者の自己負担は、通算48時間まで課税世帯は1時間600円で、非課税世帯は通算96時間まで無料で利用可能としております。

続きまして、在宅育児支援金事業でございます。

こちらも新規事業です。

事業内容は、保育所等を利用せず、育児休業給付金等の支給のない保護者に対して、乳児を在宅で育児する場合にアタッチメントの形成及び物価高騰に伴う経済的支援を行い、家庭保育の充実を図るものでございます。対象者は、住民登録があり、居住者で育児休業給付金等を受給していない者かつ保育所等に入所せず家庭で生後2か月から満1歳に達するまでの乳児を養育している者が対象となります。支給額は月1万円で、最大10万円までとしております。事業費は、対象者や転入者などを合わせて

7名分の70万円を計上しています。財源は、今年度は地方創生交付金を充当いたします。

6つ目になります。不妊治療及び不育症治療の推進事業でございます。

令和6年度から、不妊治療については自己負担の一部を助成しておりましたが、県が助成額を拡大したことで、1回の治療費を5万円から10万円に上限額の引上げを行います。不育症治療については上限5万円としており、町単でしたが県の補助が2分の1つくことになりました。事業費は、不妊治療を3人分見込み180万円、不育症治療費を1人分の5万円見込み、合計185万円を計上しております。

続きまして、予算概要について説明いたします。

内容と昨年度から変更のあった主なものを説明させていただきます。

事業番号40001社会福祉費でございます。前年度対比が増額となっている理由としては、社協への補助金について、給与や福利厚生費が上がったこと、また成年後見制度の権利擁護に係る委託料が増額となっております。

事業番号40002民生委員活動費については、令和7年11月末で3年の任期が終了となるため、改正に係る負担金が増額になっております。

続きまして、40060災害時要配慮者支援事業、こちらは個別計画作成を包括支援センターに委託しておりますが、新規作成については実態に応じ、契約数を60件から30件に見直しをしましたため、減額となっております。

続きまして、40005障害福祉費138万7,000円の増額になっております。制度改正に伴うシステム改修やサービスコード修正に係る改修のためのものでございます。

事業番号40013障害者総合支援法給付事業963万3,000円の減額、こちらはヘルパーや施設入所など障害福祉サービスの給付になります。予算見込み時には、利用者の実績額の最大値で算定しておりましたが、実態に合うよう算定を見直したため、減額になりました。

続きまして、一番下の段になります。

事業番号40017在宅支援事業568万5,000円の減額、対象者がデイサービスを受けた後、そのまま施設に宿泊するお泊まりデイでございましたが、事業を廃止したため、減額となっております。替わりとして、ショートステイや入所サービスに移行しております。

続きまして、40022老人保護措置事業237万9,000円の増額、現在5名入所しておりますが、新規入所者を1名見込み、6名分としたために増額になっております。

続きまして、40072介護施設等整備事業3億5,346万1,000円の減額です。令和6年度には、喜楽苑建て替え補助金を3億6,248万円を計上していましたが、令和7年度においては電動ベッドや入浴装置等の備品の補助金として901万9,000円を計上しております。財源は、全額徳島県地域医療総合確保基金事業等補助金を充当いたします。

続きまして、事業番号40030保育等促進事業503万7,000円の減額です。保育園の運営費は、見込み児童数が減少したことによるものです。また、延長保育については、1事業当たり30万円から60万円に国の基準額が変更になっております。

続きまして、事業番号40046児童手当になります。676万4,000円の増額です。こちらは、児童手当法改正により、令和6年10月から18歳までが対象となり、第3子以降の支給額が変更になっております。その拡大分を4月から反映させたため、増額になっております。

事業番号40035子育て総合支援事業589万3,000円の増額になっておりますが、こちらのほうは事業番号40061の産後ケア事業として計上していたものをこちらの事業に変更したためでございます。新規の事業としては、マネジメントシート8ページ、9ページで説明した子育て世帯訪問支援事業や在宅育児支援金が新たなものになります。

事業番号41034妊婦のための支援給付事業、こちらも事業番号40071の出産・子育て応援給付金事業として、妊娠届時と出生時にそれぞれ5万円を給付していましたが、国の制度改正に伴い、事業名を変更しております。

続きまして、事業番号40055ひとり親家庭等医療費43万2,000円の増額、こちらは10月から県の事業拡大により、ひとり親の通院費が助成対象となることで経費を見込んで増額となっております。

続きまして、事業番号40038予防接種等事業です。2,130万3,000円の増額になっております。令和6年度は、コロナワクチンを当初でなく補正で計上してあったため、また新規に65歳以上から5歳刻みで100歳までを対象とし、高齢者の带状疱疹ワクチンの接種が定期予防接種になります。令和7年度については全員が対象となるため、

432名が対象となりますが、接種率を55%と見込み、238名で算定し、987万7,000円を計上しております。

続きまして、子育て世代包括支援センター事業、40061の事業です。こちらと40071出産・子育て応援交付金については、それぞれ事業を変更したため、減額となっております。

続きまして、介護保険事業のほうを説明させていただきます。予算額9億7,794万2,000円でございます。前年度より844万4,000円の増額となっております。主な事業として、3点掲載しております。

1つ目、勝浦町高齢者福祉計画、第10期介護保険事業計画策定事業でございます。前回の第9期計画は、令和6年3月に令和6年度から8年度までの計画を策定しました。次期の第10期計画は、令和9年度から11年度の3年間になりますが、前回同様に業者確保や担当の業務負担を考慮し、2か年で作成したいと考えております。令和7年度は、人数調査や在宅介護の実態調査を行います。事業費は、委託料が216万7,000円で、時間外手当や通信運搬費を合わせて総額288万2,000円になります。8年度への債務負担行為で471万9,000円を予定しております。

続きまして、シニアのためのスマホ教室でございます。介護予防を目的とし、令和6年に引き続きスマホ教室を開催いたします。内容は、65歳以上の方を対象に、4種類の講座を8回、レヴィタで行います。7年度は、LINE講座を新たに追加し、1日間のみの参加でも可能とした気軽に参加できるように変更をいたしております。事業費は、委託料33万7,000円とチラシ等に使用の消耗品を合わせて総額41万2,000円でございます。財源は、地域支援事業交付金と保険料及び一般会計繰入金を充当いたします。

続きまして、3つ目の事業です。介護予防トレーニング講座でございます。タブレットや音楽を利用したトレーニングを行い、認知症の予防を図ります。令和6年度から始めた音楽教室ですが、毎回定員に達し好評であったため、令和7年度は回数を増やし開催いたします。事業費は、委託料65万円で、財源は地域支援事業交付金と保険料及び一般会計繰入金を充当いたします。

続きまして、事業別予算概要の主なものを説明させていただきます。

事業番号41000一般管理費でございます。8月から介護保険制度改正に対応するた

め、システム改修を行います。委託料は41万2,500円で、老健施設等の多床室室料の利用者負担等に係るシステム改修を行います。

事業番号41024計画策定委員会費は、マネジメントシート3ページで説明させていただきました。

事業番号41010介護サービス等諸費、前年度比1,845万7,000円の増額となっております。その理由としましては、令和4年度から令和6年度の実績や伸び率を計算し、7年度の見込みを算出しておりますが、居宅介護サービスや介護予防サービスに係る給付が増えたため、増額となっております。

事業番号41013特定入所者介護サービス等費1,206万9,000円の減額です。給付の算定に当たって、介護保険事業計画の数値を使用し計算していましたが、実績に応じて算定し、見直しし、減額となったものでございます。介護保険給付費全体では、第9期介護保険事業計画における計画値や令和7年度予算も数値内で収まっておりまして、見込みどおり進められていると考えております。

以上、福祉課からの説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 以上で福祉課関連の詳細説明は終了しました。

議事の都合により、休憩します。

午前9時50分 休憩

午前11時00分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に続き会議を開きます。

上下水道課関係について詳細説明を求めます。

大上上下水道課長。

○上下水道課長（大上誉司君） それでは、上下水道課の分について説明させていただきます。

まず、令和7年度一般会計の概要説明をさせていただきます。

1ページ目でございます。

予算額は、7,060万3,000円、対前年度予算といたしまして755万9,000円の増額でございます。

主な事業といたしまして、小松島市外三町村衛生組合し尿処理施設整備事業4,801万2,000円、勝浦町浄化槽設置整備事業2,259万1,000円でございます。

マネジメントシートなどで事業を説明させていただきます。

最初に、事業名、小松島市外三町村衛生組合し尿処理施設整備事業でございます。
予算科目は、4款2項2目し尿処理費、事業の目的といたしましては、町民の公衆衛生の向上と生活環境保全、自然環境保護を目的とし、町内のし尿処理の向上を図ることとでございます。

事業の内容といたしましては、小松島市外三町村衛生組合で運営をしておりますし尿処理施設しらさぎ浄園の施設整備及び更新を行っております。現在、衛生組合の運営に関する事務は小松島市が行っておりますので、本町は整備等の費用について、人口や財政規模等の割合に応じて負担金を支払っております。事業の内容といたしましては、まず衛生組合の負担金が4,434万5,000円、内訳といたしまして町費480万3,000円、し尿処理費2,581万9,000円、施設費1,132万4,000円、環対費223万9,000円でございます。また、投入負担金といたしまして366万7,000円を別に計上させていただきます。

マネジメントシートの真ん中の右側のほうに、負担金の前年度との比較表を添付してございます。主な増減の内容といたしましては、施設費で、令和7年度は焼却施設のコンプレッサー更新など施設更新に係る費用が高額になっていることに加え、投入室の床補修などもあり、前年度と比較して5.2倍の増加となっております。反対に、減少といたしましては、し尿処理費が前年度より0.79倍となっております。理由といたしましては、令和6年度で実施しましたし尿処理場内の生物膜装置の点検整備を7年度では実施しませんので、その分減額となりました。全体的には、対前年度額といたしまして349万1,000円、前年度比で107.8%でございます。こちらが令和7年度の負担金の費用別の一覧表でございます。

続きまして、6ページから12ページまでが令和7年度の施設費で整備する内容を記載、添付してございます。

続きまして、事業名が、勝浦町浄化槽設置整備事業でございます。予算科目は、4款2項5目合併浄化槽推進費、事業の目的は、町民の公衆衛生の向上と生活環境保全、自然環境保護を目的とし、町内の汚水処理普及率の向上を図ることとでございます。事業の内容は、この事業は、単独浄化槽またはくみ取り式槽から合併浄化槽へ転換する方に対し補助金を交付する事業でございます。

事業概要は、勝浦町生活排水処理基本計画を今年度に見直しを行い、前回の期間——令和2年から6年でございますが——に設置台数、汚水処理普及率ともに目標値に届かなかったため、今回の期間——令和7年から12年までの6か年間——で毎年30基の整備、内訳といたしまして新規10件、転換20件ができますと、汚水処理普及率の目標値を達成することができます。そのため、啓発用パンフレットを作成し、町内の各施設等に配布いたします。また、徳島県環境技術センターと連携し、単独槽の点検結果に啓発のパンフレットを用いて単独槽から合併浄化槽への転換のあっせん説明を行い、事業の推進を進めます。また、新たなる試みといたしまして、今まで単独槽やくみ取り槽を転換する場合のみに補助しておりました合併浄化槽の補助金について、新築時に新たな合併浄化槽について建設課が実施しております勝浦町住まい応援事業補助金に併せて支援できるように補助要綱を見直し、移住者、定住者の増加を目指します。

今までは、建設課の新築支援助成金100万円だけでございましたが、令和7年度より国の浄化槽の補助を活用し、100万円に上乗せしますので、設置する人槽によって補助金が違います。内容は、14ページ上段に記載させていただいておりますが、申請は課ごとに行います。上下水道課では、浄化槽の補助を受け付けます。5人槽で説明いたしますと、補助額33万円で、内訳が国費が11万円、町費が22万円となります。建設課では、新築支援助成金78万円を申請していただきます。申請者には、町からの補助金は別々に入るようになりますが、合計で111万円の補助を給付することができます。申請書類、請求書が各1枚ずつ増えますが、給付額は11万円増えることとなります。内容は、14ページに記載のとおり、人槽によって違います。新規のほうは、赤で記載をさせていただいております。

以上で一般会計の説明を終わらせていただきます。

続きまして、令和7年度勝浦町簡易水道事業の当初予算の説明をさせていただきます。

予算額は、収益的収入及び支出で、歳入額が1億6,988万9,000円、対前年度予算566万5,000円の増、歳出は1億5,139万8,000円、対前年度予算70万8,000円の増。

続きまして、資本的収入及び支出につきましては、歳入が3億1,967万4,000円、対前年度予算6,737万7,000円の増、歳出は3億5,382万7,000円、対前年度予算6,287万

5,000円の増額を計上しております。

新年度予算を当初予算事項別明細書を用いて説明させていただきます。また、右側の説明で、100万円以上につきましては主な内容を朱書きで説明を記載させていただいております。

まず、収益的収入及び支出で、収入は前年度と比較いたしまして566万5,000円の増額となっております。主な理由といたしまして、営業収益が276万3,000円の増額、こちらは棚野久国地区、星谷地区の料金改定を行ったため、前年度比といたしまして3.78%の増となっております。

営業外収益では、他会計負担金、これは起債の利息分が214万円、他会計補助金が129万6,000円の増加、消費税及び地方消費税還付金が439万3,000円の増加となりました。加入金の209万8,000円の減少は、令和6年度は山田未普及地域の新規加入者19件を見込んでおりました。今年度はその分がないため、減少となりました。

次に、支出は、前年度と比較しまして70万8,000円の増額となっております。主な理由といたしましては、営業費用は242万3,000円の減少、こちらは原水及び浄水費、こちらは水質検査や各施設の委託料などで構成されておりますが、総係費——ここでは人件費になりますが——は微増だったのですが、昨年度440か所ありました水道メーターの交換費用が今年は減少したため、減少となりました。また、営業外費用が313万1,000円増加いたしました。こちらは、企業債の支払い利息の増加のためでございます。

次に、資本的収入及び支出でございますが、収入ですが6,737万7,000円の増額でございます。こちらは、企業債が3,980万円の増、国庫補助金が1,715万5,000円の増、他会計補助金が267万3,000円、他会計負担金が337万9,000円の増、工事負担金が437万円の増、全て建設改良工事の増額で、中山横瀬地区、西岡地区の分の増額のためでございます。また、支出でも6,287万5,000円の増額となっております。

続きまして、主な事業といたしまして、マネジメントシートを活用して説明させていただきます。

事業名が、中山横瀬簡易水道改良事業でございます。目的といたしまして、勝浦町簡易水道中山横瀬地区の老朽化した水道施設を更新し、住民に水を安定供給することでございます。令和7年度の事業内容といたしましては、工事箇所が2か所と設計箇

所が1か所になります。詳細を説明させていただきます。こちらが管内図でございます。まず赤色で塗ったこちらの檜淵地区が延長が170メートルで152ミリを更新する予定でございます。それと、こちらの中村区域でございますが、こちらは延長が71メートルで管の径が30ミリぐらいの昨年できなかった続きの部分を更新する予定でございます。それと、こちらが測量するところではございますが、こちらが中野儀一宅前から栗城ごみフェンスまでの間で、延長が280メートルの間を測量いたします。それで、事業費と財源内訳でございますが、合計で事業費が3,795万円で、内訳といたしまして国県支出金が1,050万1,000円、地方債が2,100万円、一般財源が644万9,000円でございます。

こちらが先ほど説明しました管路図でございます。それと、こちらが檜淵地区の工事の平面図になります。

続きまして、事業名が西岡地区水道改良事業、山田未普及地域解消事業でございます。事業の目的といたしましては、西岡地区の老朽化した水源地、配水池の改修及びふだんから断水が頻繁に起こり、生活に支障がある水道未普及地域への対応ということでございます。令和7年度の事業内容といたしましては、事業費が2億7,529万7,000円でございます。内訳といたしまして、工事費が2億7,284万4,000円と、あと施工管理費が245万3,000円でございます。

こちらの事業の内容を説明させていただきます。まず、オレンジ色で囲みましたこちらが水源地になります。水をくむところでございます。ここから水を吸い上げる水源地と、それとこちらが配水池、水をためるところ、配るところでございます。それと、こちらが電気設備を設置する場所になります。それと、水色で囲んだところ、この2か所のところが令和6年度にできませんでした管工事がまだ残っておりますので、こちらの分も併せて実行させていただきます。

こちらの表が工事の経費の内訳となります。それで、事業費と財源内訳でございますが、事業費が2億7,529万7,000円、国県支出金が9,074万円、地方債が1億7,500万円、その他が437万円、一般財源といたしまして518万7,000円でございます。

以上で勝浦町簡易水道事業の予算説明を終わります。

続きまして、令和7年度勝浦町農業集落排水事業の当初予算の説明をさせていただきます。

まず、予算額といたしましては、収益的収入及び支出でございまして、歳入が5,939万円で、対前年度比予算で785万9,000円の増、歳出は5,858万6,000円、対前年度予算で709万2,000円の増となっております。

続いて、資本的収入及び支出でございしますが、歳入が5,113万7,000円、対前年度予算が2,184万9,000円の増、歳出は5,140万円、対前年度予算が2,185万円の増を計上させていただきます。

新年度予算額を簡易水道事業と同じく、当初予算の事項別明細書を用いて説明させていただきます。

先に、収益的収入及び支出につきまして、収入は前年度と比較いたしまして785万9,000円増額となっております。主な理由といたしまして、営業収益で使用料が料金改定のため247万4,000円の増額となっております。また、営業外収益で他会計補助金が390万3,000円の増額、こちらは一般会計より人件費や維持管理費を繰り入れております。

次に、支出は、前年度と比較いたしまして709万2,000円の増額となっております。主な理由といたしましては、管渠費、処理場費の備用品費、維持修繕費、施設維持管理委託料の増額となっております。

次に、資本的収入及び支出でございしますが、収入で2,184万9,000円の増額、支出でも2,185万円の増額となっております。主な理由といたしましては、農業集落排水処理施設の機能強化対策事業の事業内容によるものでございます。令和7年度では、自動スクリーンの更新を予定しております。

次に、マネジメントシートにて主な事業内容を説明させていただいています。

事業名といたしまして、農業集落排水処理施設の機能強化対策事業でございます。目的といたしましては、経年等により機能低下した農業集落排水処理施設の更新を行い、施設強化、機能回復を実施し、長寿命化を図ることといたしております。令和7年度の事業といたしましては、こちらの写真に添付しております自動スクリーンの更新をする予定にしております。事業費と財源内訳でございしますが、事業費が4,000万2,000円、国県支出金が2,000万円、地方債も2,000万円、一般財源が2,000円でございます。

以上で上下水道課の予算説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 以上で上下水道課関連の詳細説明は終了しました。

議事の都合により、休憩とします。

午前11時27分 休憩

午後1時29分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

教育委員会関係について詳細説明を求めます。

石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） それでは、教育委員会から令和7年度勝浦町一般会計当初予算について詳細説明をさせていただきます。着座にて失礼をいたします。

令和7年度勝浦町一般会計当初予算のうち、教育委員会関係の予算額は3億4,576万4,000円となっております。こちらにつきましては、対前年度に比較しまして3,228万5,000円の減額となっております。

予算に計上しました事業のうち、1、勝浦町高校生等修学費助成事業、補助金事業で継続事業に該当でございます。それと、(2)学習者、指導者用タブレット更改、新規事業該当、(3)恐竜事業、予算額882万円、継続事業に該当、(4)阿波学会総合学術調査事業、予算額30万円、新規事業に該当、(5)町スポーツ協会活動補助金、予算額60万円、新規事業に該当、(6)星谷運動公園整備事業、予算額66万円、新規事業に該当、(7)学校給食費助成事業、予算額1,792万6,000円、継続事業。

以上、7事業につきましては、主要な事業として上げさせていただいております。後ほど、資料にて詳細のほうを説明をさせていただきます。

次に、各事業につきまして、その概要とそれぞれの事業予算の中における予算の金額が100万円以上のものを交えながら説明をさせていただきます。

まず、特定目的基金（教育）でございます。こちらにつきましては、教育委員会で従来から所管をしております公共施設維持基金、朝桐奨学賞基金に加えまして、令和7年度からは新たに福中政美子供の育英基金の利息をそれぞれ基金に積み上げる予算となっております。福中基金に追加ということで、前年度から増額の予算となっております。

続きまして、教育委員会運営にでございます。こちらにつきましては、教育長職務

代理、教育委員の報酬、また教育委員の関係費用の予算となっております。教育委員の視察研修、こちらが隔年で県内と県外で交互で行っておりまして、令和6年度が県外の視察の順番でございましたので、令和7年度は県内の順番ということもあり、その関係等で前年度に比較して予算額が減少しております。

続きまして、町育英奨学資金貸付でございますが、こちらは勝浦町育英奨学資金貸付金、入学資金貸付金の予算となっております。近年の貸付人数等を踏まえまして、見込み人数等を予算のほうでは減らしたことによりまして、そういったところもありまして前年度と比較して予算額のほうは減額としております。こちらの事業予算では、奨学金の貸付金168万円、入学資金貸付金160万円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、中学校9か年皆勤賞、こちらにつきましては、朝桐奨学賞、中学生が対象になると思いますが9か年の皆勤賞の予算となります。こちらは、前年度と同額の予算を計上しております。

続きまして、教育関連地方創生事業であります。令和5年度から開始しました高校生等修学支援事業補助金の予算となります。こちらにつきましては、後ほど資料にて詳細を説明させていただきます。また、こちらの事業予算では、令和7年度に新たに小松島西高等学校勝浦校通学支援事業補助金120万円を計上しており、現在、関係要綱の作成を行っているところでございます。

続きまして、事務局費でございます。こちらは、特別職、また教育委員会事務局、また給食センターの正規職員の人件費等の予算となります。こちらの事業予算では、特別職の給料660万円、職員給料3,851万9,000円、会計年度任用職員給料264万円、時間外勤務手当145万5,000円、扶養手当107万9,000円、期末手当1,071万4,000円、勤勉手当692万1,000円、市町村職員共済組合1,490万8,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、幼児教育でございます。こちらの予算につきましては、幼稚園の無償化の関係の予算となりますが、幼稚園の通園時点で発生します施設型給付費を3人、預かり保育を追加した方を対象とした施設等利用費、こちらは2名の方を対象人数として見込み、前年度並みの予算を計上しております。こちらの事業予算では、施設型給付費152万5,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

生比奈小学校費、横瀬小学校費につきましては、各学校の各行事における謝礼、記念品等、またそのほか学校に必要な経費につきまして、それぞれの学校での執行予算ということで予算のほうを計上しております。お手元にありますように、令和6年度が4年に1度の教科書改訂の年に当たっていたため、令和7年度は令和6年度と比較して大幅な予算の減額となっております。なお、生比奈小学校費では、印刷関係などの消耗品費280万3,000円、横瀬小学校費では同じく印刷関係など消耗品費219万2,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、小学校振興費でございますが、こちらにつきましては、小学校に勤務しております会計年度任用職員の人件費、スクールバス関係費を小学校の光熱水費、ICT支援員委託業務、小学校備品購入費等、教育委員会の事務局が執行します小学校関係の予算となっております。こちらの事業予算では、会計年度任用職員の給料1,611万円、会計年度任用職員の通勤手当156万3,000円、会計年度任用職員の期末手当335万7,000円、勤勉手当の282万円、社会保険料等の498万2,000円、光熱水費の824万8,000円、スクールバスの関係などの手数料179万6,000円、横瀬小学校の児童通学輸送委託料287万7,000円、ICT支援員業務委託料111万9,000円、横瀬小学校農業集落排水施設などの使用料、こちらが197万2,000円、生比奈小学校浄化槽の蓋改修工事と横瀬小学校体育館の入り口屋根改修工事を予定しております工事請負費200万円、小学校の備品購入費1,938万円、要保護準要保護児童就学援助費120万円が予算額100万円以上のものとなっております。令和6年度に校舎屋上防水改修工事の設計監理委託料457万5,000円、工事費3,050万円を計上しておりました生比奈小学校建設費には、令和7年度は予算計上をしている事業がないため、皆減となっております。同様に、令和6年度に高圧設備改修工事の工事費429万円を計上しておりました横瀬小学校建設費につきましても、令和7年度は予算計上をしている事業がないため、皆減となっております。

勝浦中学校費につきましては、それも先ほどの小学校と同様でございますが、学校の各行事における謝礼、記念品等、中学校の関係予算で中学校での執行予算ということで計上しております。こちら中学校は、令和7年度に教科書改訂対応ということで予算の措置があるため、令和6年度に比較して予算の大幅な増額となっております。こちらの事業予算では、教科用図書改訂に係る費用293万7,037円を含みました消

耗品費598万1,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、中学校振興費でございますが、こちらにつきましては、中学校に勤務しております会計年度任用職員の人件費、スクールバスの関係費用、中学校の光熱水費、ICT支援員委託業務、中学校備品購入費等、こちらは中学校の費用でございますが、教育委員会事務局で執行します中学校関係の予算ということになります。

この事業予算ですが、まず部活動指導員、こちらの配置種目につきまして、令和6年度は女子バレーボール、女子バスケットボール、剣道の3種目について部活動指導員を配置してるわけでございますが、令和7年度においてはこの3種目に追加しまして、新たに音楽の関係となりますが、琴、こちらのほうを新たに種目として追加すると、そういった事情もありまして、予算のほうが前年と比較して増加ということになっております。

こちらの事業予算では、部活動指導員が対象となりますが、会計年度任用職員の報酬350万2,000円、会計年度任用職員の給料——こちら公務員と部活動指導員以外の方ということになりますが——738万8,000円、期末手当153万9,000円、勤勉手当129万3,000円、社会保険料等232万1,000円、通勤手当等118万7,000円、光熱水費552万8,000円、エレベーター点検等の手数料181万5,000円、体育館ウレタン塗装、ライン引きを予定しております工事請負費300万円、中学校の備品購入費1,008万3,000円、中学校の体育振興、文化振興など振興の補助金、こちらが104万4,000円、要保護準要保護生徒就学援助費143万6,000円が予算額100万以上のものとなっております。令和6年度にグラウンド防球ネットの工事設計監理委託料236万7,000円、工事費1,577万9,000円を計上しておりました勝浦中学校建設費には、令和7年度は予算計上している事業がないため、皆減となっております。

続きまして、社会教育総務費でございます。こちらは、社会教育委員の報酬、青少年補導員の謝礼、文化財保護委員謝礼、二十歳のつどい、文化祭、芸能大会の関係費用、文化協会、読書振興協議会、青年会、婦人会補助金等の予算となっております。前年度比較となりますが、青少年健全育成センター負担金の増額や勝浦郡総合学術調査の追加等のため、令和6年度と比較して予算のほうが増額となっております。こちらの事業予算では、社会教育振興補助金187万5,000円、社会教育振興費156万4,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、外国語指導助手配置事業でございますが、こちらは外国語指導助手2名分の関係予算となっており、令和6年度と比較して人件費の増額等も伴いまして、予算額は増額となっております。こちらの事業予算では、会計年度任用職員——これ外国語指導助手のことになりますが——の報酬844万1,000円、社会保険料等149万3,000円、外国語指導助手2名分の家賃となります賃借料116万4,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

伝統芸能保護事業につきましては、阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル関係や勝浦座に交付しております無形文化財保護活動補助金等の予算となっております。

学校支援地域本部事業につきましては、学校支援地域本部コーディネーターの謝金、地域ぐるみの学校支援協議会謝礼等の予算となっております。これまでの実績等も考慮しまして、令和7年度につきましては令和6年度に比較し、予算額は減額としております。

続きまして、恐竜（教育委員会）でございます。こちらにつきましては、令和6年度と比較しまして、恐竜フェスティバルの関係費用の増額等によりまして予算増額となっております。後ほど、資料により詳細説明をさせていただきます。なお、こちらの事業予算では、イベント委託料159万7,000円、地域おこし協力隊員の業務委託料480万円が予算額100万円以上のものとなっております。令和6年度に実施しました公共ホール音楽活性化事業につきましては、令和7年度は予算計上していないため、こちらの事業予算は皆減となっております。

続きまして、社会体育費でございます。こちらにつきましては、スポーツ推進員の報酬、体育館照明、ナイター修繕費、また町スポーツ協会活動補助金等の予算となっております。町スポーツ協会補助金の追加や総合型地域スポーツクラブ補助金の増額などにより、令和6年度に比較し予算は増額となっております。こちらの事業予算では、各種スポーツ振興補助金110万5,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、町民体育館管理運営でございますが、こちらにつきましては、指定管理指定事業のスポーツ大会、みんなの運動会開催事業委託料、町民体育館の指定管理料等の予算となっております。みんなの運動会の開催費用の増額、また町民会館の指定管理料の増額などによりまして、令和6年度に比較し増額の予算となっております。

す。こちらの事業予算では、イベント委託料410万2,000円、町民体育館指定管理料692万3,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

すいません、1点おわびがございます。町のスポーツ協会の活動補助金、社会体育費と町民体育館と両方に入っておりますが、正しくは社会体育費のほうで組んでおりますので、訂正させていただきます。町民体育館のほうは削除ということで、すいませんでした。

続きまして、教育集会所、学習会でございます。こちらにつきましては、教育集会所の修繕費、また小松島市・勝浦郡地区進路保障協議会負担金等の予算となっております。

続きまして、図書館費でございます。こちらにつきましては、図書業務に係る会計年度任用職員の人件費、また一般図書、DVD購入費用等の予算となっております。人件費の増額等もありまして、令和6年度に比較し予算は増額となっております。こちらの事業予算では、会計年度任用職員の報酬174万8,000円、こちらパートの方が対象となります。それと、会計年度任用職員の給料512万7,000円、こちらはフルタイムの方が対象です。あと、期末手当106万8,000円、共済組合負担金160万9,000円、消耗品費109万円、光熱水費252万9,000円、備品購入費230万円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、星合運動公園管理でございますが、こちらにつきましては、運動公園に関係します消耗品費や修繕費、運動公園管理委託費、工事費等の予算を計上しております。施設管理委託料や工事請負費の増額などにより、令和6年度に比較し増額の予算となっております。また、これは後ほど資料によりまして詳細な説明をさせていただきます。こちらの事業予算では、施設管理委託料155万6,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

続きまして、人権啓発推進費でございますが、こちらにつきましては、町人権教育推進委員謝礼等、また四国地区人権教育研究大会、全国人権同和教育研究大会の旅費等の予算となっております。令和7年度、人権モニタリング事業39万6,000円、こちらの追加等よりまして、令和6年度に比較し増額の予算となっております。

続きまして、人権啓発活動地方委託事業でございます。こちらにつきましては、町人権講演会開催費用の予算となっております。

給食センター運営でございますが、こちらにつきましては、学校給食センター運営委員会委員謝礼、給食センター消耗品費、光熱水費、修繕費等の予算となっております。備品購入費の増額などにより、令和6年度に比較して増額の予算となっております。こちらの事業予算では、調理等に使用します消耗品費168万円、光熱水費306万9,000円、調理機器の点検等の手数料150万3,000円、学校給食配送業務委託料154万8,000円、備品購入費の613万8,000円が予算額100万円以上のものとなっております。

給食調理加工でございますが、こちらは給食の食材等の材料費の購入費用となります。今回、2,197万8,000円を予算計上しております。令和6年度と比較しまして減額の予算としております。

続きまして、マネジメントシートによりまして主要な事業の説明をさせていただきます。

1点目でございますが、勝浦町高校生等修学費助成事業でございます。こちらは、町のほうで作成しました要項、こちらに基づきまして、また助成事業のほうを実施したいと考えております。令和7年4月1日現在に勝浦町に住所を置いていただいている高校生等を養育している保護者等の方、こちらの方に対しましての交付事業になります。高校生等1人につき年額10万円、例えばお二人養育されてるようでしたら20万円ということで、昨年同様の内容となりますが、実施を予定しております。候補者としまして、高校1年生の該当の方が30名、2年生が31名、3年生が34名ということで、こちらのほう候補者ということで町のほうでは認識しております。あと、4月1日までに転入があったり、いろいろあると思いますので、7名分の枠を別に設けておりまして、合計102名分の予算ということで計上しております。こちらのほうにつきましては、財源としまして物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、こちらのほうを一部充当することで予定をしております。

続きまして、学習者、指導者用タブレット更改でございます。現在の小・中学校のタブレットですが、令和2年度に導入しまして、もう5年を迎えようとしております。そういったところあるのと、あと県内各市町村は令和7年度あたりで更新をするというところが大体標準といったらおかしいんですけど、動きとなっております。さらには、また県教委のほうが窓口となりまして共同調達ということでお話もいただいておりますので、共同調達のほうでまた本町も調達をしたいというふうに考えており

ます。それで、今回こちらのほうにつきましては、財源としまして公立学校情報機器整備費補助金、国費となりますが充当をと考えております。こちらのほうはややこしいんですが、1台当たり5万5,000円を上限としまして、経費の3分の2となっております。ちなみに、今回そこようけ書いとして分かりにくいんですけど、調達の総台数は307台ということで、1台5万5,000円で算定しております。1台5万5,000円の307台ということで1,688万5,000円を計上しております、このうちの3分の2が国費を財源というふうに考えております。

ちなみに、こちらの人数ですが、基本的には令和6年5月1日現在の児童・生徒数というところと、あとその後に転入とかで増えた場合はその人数は加味していただけるということで補助制度のほうは確認をしております。ちなみに、小学校のほうで182台、中学校85台ということで、予備機がありますように、182台と85台で合計267台ということになりますが、その15%までを予備機ということで補助対象となるというところで40台、こちらのほうを活用して購入を考えております。共同調達での調達ということで、県のほうとも協議をしながら事業を進めていくようになると思いますが、おおむね予定としましてはスケジュールはこういった格好で考えております。

続きまして、恐竜でございます。本年度も、去年までと一緒に夏休みを考慮しまして、夏場のほうに恐竜フェスティバルというところで計画をしたいと考えております。令和6年度は、久しぶりに3DプリンターとかVR体験とかをしまして好評でしたので、今年度も何でしたらそういった方向で実施をしていきたいというふうに考えております。また、今年度の大きな特色としまして、県立博物館とタイアップしまして移動博物館ということで、また徳島県立博物館のほうからいろいろな展示物、そういったところについてご協力いただけるというところで話をしつつありますので、そういったところもぜひ実施してみたいというふうには考えております。フェスティバルとは別に、秋口にやっております化石の講演会、こちらも開催時期はお祭りの時分でもありますのでまた検討が必要かなと思っておりますが、そういったフェスティバルとは別にまたそういった恐竜に関するイベントも実施できればというふうには考えております。また、これ教育委員会にとって大事な話になりますけど、小・中学校での恐竜を生かした授業、ふるさと学習、そういったところにも学校と協議をしながら

可能な取組をしていきたいと考えております。

すいません、町長の所信表明にもありましたが、徳島県との発掘作業をより町としても協力といいますか、共々ということで、現在徳島県立博物館でお世話になっております恐竜活性化協議会、こちらの窓口を県から町のほうに移して令和7年度は取り組んでいきたいというふうには考えております。こちらの恐竜事業の予算事業に対しましての財源でございますが、とくしま文化・未来創造支援事業補助金100万円、阿波銀行学術・文化振興財団文化補助金50万円ということにしております。申し訳ございません、こちらの一部誤りがありまして、阿波銀行のほうは国県支出金には当たらないと思いますので、この50万円はその他のほうに入っていくと思います。訂正させてもらえたらと思いますので、よろしくお願いいたします。

恐竜事業でも、こちら地域おこし協力隊を引き続いて配置をしたいと考えております。関係予算、ほぼ例年どおりかなと思いますが、活動費の精査とか言われておりましたので、また今後も6年度の実績も踏まえながら、より精査等をしながら取り組んでいきたいというふうには考えております。

また、すいません、戻りますが恐竜フェスティバル、夏休みを考慮して夏場の開催でということで、暑い時期でございます。去年のこれ書いてあったと思います、議員さんから暑いということで発掘体験の会場の心配もいただいたところでございます。ハード的に取組ってのがなかなか具体的できません。あと、来場者の方の暑さが気になるところでございますので、例えば1日の開催回数を5回から4回に減らすとか、そういったところのソフト面での対応っていうところは考えております。

続きまして、阿波学会総合学術調査事業でございます。こちらのほうですが、実は阿波学会、これも徳島県立博物館の中にある事務局がありますが、こちらの学会が県内の市町村を巡回して2年間をかけていろいろ調査をしまして、最終こういった紀要という冊子、これは小松島の例になるんですけど、こういったところで町のいろいろな情報をまとめたような本を作成すると、そういう事業になります。たまたま町制70周年ということで、タイミング的によかったのではないかなと考えておりますが、これはあくまでも先方さんの申出で、令和7年度、8年度にかけまして、勝浦郡だと言われました。勝浦町だけ、あるいは上勝町だけっていうのだと小さくなっちゃうので、勝浦町については勝浦郡でということでお話をいただきまして、今回の予算計上

に至ったところでございます。事業概要等で今後令和7年度、8年度にかけてのスケジュール、これ先方さんがお示しいただいたところになるんですが、こういったところで進めていくような格好になるかと思いますが、たちまち(1)4月に協定締結式となっておりますが、上勝町のほうは町長選挙があつて、これ4月が5月以降にずれ込むかなっていう話は今しかけております。財源は、30万円が全額一般財源というところになっております。

続きまして、町スポーツ強化活動補助金でございます。記載がほとんどなくて申し訳ないんですが、現在関係者の方と設立に向けて協議をしているところでございます。昔の町の体育協会の補助金が90万円というところも加味しまして、今現在では会員の勧誘と組織の立ち上げ、充実、こういったところの取組をお願いするようになるのかなと思いますが、そういった活動に対しましての補助金ということで、令和7年度年当予算では60万円を計上しております。また、今後、協会の活動の状況によりましては補助金の金額、こちらのほうの検討もしていくことになるかと考えております。

続きまして、運動公園のほうになります。すいません、トイレが入っておりますが、今回トイレは含まれておりません。工事請負費66万円ということになりますが、2つほどございまして、砂場囲いの強化ということで、こちらの砂場の囲いのほう、こちらの下のほうにコンクリートを打って強化をします。そこと、コンクリートの天端と囲いとをアンカーでつないで、ねじでつけたりできたりする、そういった格好での仕組みを考えておりまして、その対応の費用としまして予算のほうを計上しております。

あと、2点目が管理道、停止指導線です。こちらのほうを設けるということで、川沿いの道と管理道——土手側——この出入口のところの2か所に線を引くと、こちらのほうの6万6,000円ということで予算のほうを計上しております。合計で66万円です。財源につきましては、66万円で全額一般財源というふうになっております。

最後が学校給食費助成事業でございます。これまで、半年分で取組させていただきましたが、町長の所信表明にもありましたように、令和7年度はもう1年間児童・生徒の給食費を無償化するというところで予算のほうを計上をさせていただいております。児童・生徒1年分ということで、1,792万5,030円というところで算定のほうをしております。

以上，教育委員会から令和７年度一般会計当初予算についての説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（松田貴志君） 以上で教育委員会関連の詳細説明は終了しました。

議事の都合により，休憩とします。

午後２時06分 休憩

午後３時45分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

農業振興課関係の詳細説明を求めます。

上村農業振興課長。

○農業振興課長（上村和也君） 令和７年度一般会計当初予算の農業振興課関連について，資料に基づき説明させていただきます。

１，予算額といたしまして，２億5,712万2,000円で，対前年度予算4,510万円の増額となっています。２，主要な事業といたしまして，１つ目がスマート農業実証事業1,000万円で，継続事業でございます。２つ目が，町単独農業振興事業補助金1,864万9,000円で，継続事業でございます。３つ目が，日本型直接支払制度事業7,301万1,000円でございます。４つ目が，地籍調査事業40万3,000円で，継続事業となっています。

２ページになります。

事業別予算概要について説明させていただきます。

５款１項１目，事業番号50001農業委員会運営費614万8,000円の事業概要としまして，主な経費が農業委員会委員報酬437万9,000円となっています。

次に，５款１項２目，事業番号50027人・農地プラン整備事業2,262万9,000円で，対前年度147万5,000円の増額で，事業概要としまして，国給付金757万5,000円，初期投資促進事業1,500万円で，申請見込み計上に伴う増額となっています。

次に，５款１項２目，事業番号50002農地総務費59万3,000円で，事業概要としまして，職員手当となっています。

次に，５款１項３目，事業番号50003農業振興費2,853万7,000円で，対前年度477万7,000円の減額で，事業概要としまして，会計年度任用職員給与188万7,000円，町単農業振興事業補助金1,867万4,000円等で，備品購入費の減額による減額となっています。

す。

次に、５款１項３目、事業番号50039農業関連地方創生事業1,282万5,000円で、対前年度822万4,000円の増額で、事業概要としまして、県未来創造事業1,242万円、町単新規就農給付金150万円、みかん生産販売促進協議会補助金100万円等となっています。

次に、５款１項４目、事業番号50029経営所得安定対策事業51万3,000円で、事業概要としまして、農業再生協議会補助金となっています。

次に、５款１項５目、事業番号50006畜産業費10万7,000円で、事業概要としまして、感染症法や家畜伝染予防法対応等の費用となっています。

次に、５款１項６目、事業番号50031日本型直接支払制度事業7,301万1,000円で、対前年度1,457万6,000円の増額となっています。事業概要としまして、会計年度任用職員給与237万4,000円、システム更新委託料420万2,000円、中山間交付金4,549万9,000円、多面的交付金1,823万8,000円で、中山間スマート農業加算追加による増額となっています。

次に、５款１項７目、事業番号50009土地改良事業推進費6,274万1,000円で、対前年度1,754万3,000円の増額となっています。事業概要としまして、改良区負担金4,762万2,000円、県営事業負担金1,500万円等で、修繕費の増加、改良区の財源の減少による補助金の増額によるものです。

次に、５款１項９目、事業番号50011農業環境改善センター運営費1,290万円で、対前年度226万1,000円の増額となっています。事業概要は、指定管理業務委託料等959万4,000円、照明、非常用照明修繕工事200万円で、修繕に関する経費の増額です。

次に、５款１項10目事業番号50010農業センター運営費28万4,000円で、事業概要としまして、農業センター敷地借地料となっています。

次に、５款１項13目、事業番号60005国土調査事業40万3,000円で、地籍調査に係る経費となっています。

次に、５款１項19目、事業番号50037、６次産業化推進事業371万7,000円で、対前年度126万9,000円の減額となっています。事業概要は、指定管理業務委託料200万2,000円で、運用見直しにより指定管理者に合意の上、140万円の減額をさせていただ

きました。

次に、５款２項１目、事業番号50012鳥獣対策事業1,383万9,000円で、対前年度291万5,000円の増額となっています。事業概要は、有害鳥獣捕獲報酬等謝礼1,300万円で、捕獲実績に伴う増額となっています。

次に、５款２項１目、事業番号50013林業総務費負担金735万2,000円で、事業概要は徳島東部・吉野川流域森林管理システム推進協議会負担金等722万9,000円で、意向調査、森林境界明確化、森林整備間伐の費用となっています。

次に、５款２項２目、事業番号50014林業振興費1,152万3,000円で、事業概要は森林台帳システム更新委託料723万6,000円、積立基金400万円で、委託料、積立金の増額となっています。

次にマネジメントシートにより説明いたします。

まず、スマート農業実証事業は、目的として実際に農業をしているみかん農家を対象にドローン防除を実施することにより、ドローン防除の時間やコスト、効果及び普及に向けた課題を検証し、ドローン防除普及の契機とするもので、事業費は1,000万円で、財源内訳は全額国県支出金としています。

次に、町単独農業振興事業補助金は、目的として町内の既存の農業施設、田畑の維持及び将来に向けての農業振興を図ります。事業費は1,864万9,000円で、財源内訳は全額一般財源としています。

次に、日本型直接支払制度事業について、目的は農業の有する多面的機能の維持、発揮のための地域の共有活動や営農活動に対して支援を行い、地域で農地を守ります。事業費は7,301万1,000円で、財源の内訳は国県支出金4,829万2,000円、その他1,000円、一般財源が2,471万8,000円となっています。

次に、地籍調査事業についてでございます。目的は地籍の明確化で、令和６年度一般会計補正予算第９号でご決議いただきました地籍調査事業予算のうち１億4,510万円全額を７年度に繰り越し、事業を実施いたします。７年度一般会計予算は40万3,000円となっています。合計１億4,550万3,000円で事業を執行いたします。

以上が令和７年度一般会計当初予算の農業振興課関連の詳細説明となります。

○議長（松田貴志君） 以上で農業振興課関連の詳細説明は終了しました。

議事の都合により、休憩します。

午後 4 時02分 休憩

午後 4 時42分 再開

○議長（松田貴志君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

明日は午前 9 時30分からこの場所，大会議室で会議を開きます。

本日はこれにて散会します。

午後 4 時42分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員